

|          |
|----------|
| 実施年月日    |
| 4, 8, 26 |
| 富山大学     |

令和5年度 富山大学大学院人文社会芸術総合研究科

人文社会芸術総合専攻（修士課程）人文・芸術プログラム 芸術文化学系

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試

入学試験問題

# 小論文

## 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題を開いてはいけません。
2. 問題用紙（本文）は2枚、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚あります。問題用紙および解答用紙に不備があった場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 受験番号は、解答用紙の指定欄に算用数字で記入してください。
5. 試験終了後、問題用紙および下書用紙は、持ち帰ってください。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

アマチュアはプロフェッショナルの対概念である。非専門性あるいは趣味的活動によって属性づけられ、職能とはならないのが通常である。しかし芸術的活動においては、IT 技術の発展と制作ツールの普及が著しい今日、両者の境界が曖昧なものとなりつつある。それゆえ、企業は人々の創作活動を知財管理とイノベーションの両面から包摂するようなアーキテクチャーの構築を急いでいる。また各領域の専門家にも、ますます理論的／実践的先鋭性が要求されている。ここには日々表現を生み出すアマチュアの創造性をもはや無視できないという状況がある。

●**アマチュアリズムの批評性** ところでアマチュアの活動の多くは趣味や余暇として語られるように、もっぱら精神的充足を目的とする。それは人生をより豊かで充実したものにすることであり、芸術的活動の場合日常の中に一種の美的体験をもたらすものとしてある。このような生活と芸術の交差という視点からアマチュアの創作をとらえたのが、鶴見俊輔の『限界芸術論』である。限界芸術とは、祭事や民間芸能、落書き、替え歌など、非専門家としての民衆が生活の中で創作・享受してきたものの総称である。鶴見はそこに生活に根づく広大な美的体験の領域を認め、専門家の芸術を生み出す土壌として理解する。その先には、芸術を生活世界へ還元し、専門的に分化してしまった社会の創造性を再考する、W. モリスらと共通する発想をうかがい知ることができよう。

こうした試みは、アマチュアリズムという実践的な態度としてとらえることも可能だ。E. W. サイドはアマチュアリズムを「より大きな俯瞰図を手に入れたり、境界や障害を乗り越えて様々なつながりをつけたり、また特定の専門分野にしばられずに専門職という制度から自由になって観念や価値を追究すること」とする（サイド訳書 1998, p. 127）。さらに M. マクルーハンは、「アマチュアリズムは反環境的である。専門家主義は、個人を全環境のパターンの中に没入させる。それに対しアマチュアリズムは、個人に対する全体的認識と社会の基本原則に対する批判的認識を育てようとする」という（マクルーハン＆フィオーレ訳書 2015, p.95）。要するに、外部から専門領域をみつめ、その実践自体が批評的性格をもつような態度において、アマチュアリズムは積極的な価値を持ち始めるのである。

●**DIY と共創文化** では以上のようなアマチュアリズムは、どのようなかたちで存在するだろうか。一つの例として DIY (Do It Yourself) をあげたい。DIY は震災後のロンドンでの生活再建運動に端を発するが、今日では園芸や日曜大工、乗り物や機器のカス

タマイズ（ハックともいう）、様々なデジタルコンテンツの創作、音楽におけるインディーズレーベルや ZINE、SNS を介した民主化運動など幅広い領域に浸透している。これら DIY において重視されるのは文字通り「自分（たち）の手で行うこと」である。それは単なる趣味的な自己表現ないし充足のためではない。むしろ DIY の過程における熟考や創作の先には、極度に専門化しブラックボックス化してしまった世界を脱構築し、「別のやりかた」を自分（たち）の手で編み出すという理想がある（Ratto & Boler 2014）。つまり DIY とは一種の批評的創作（critical making）だといえる。とりわけ 2000 年代から隆盛したパーソナルファブリケーションの取り組みには、その性格が色濃く現れている。パーソナルファブリケーションとは、デジタル造形ツールや 3D プリンターといった製品試作技術（ラピッドプロトタイピング）を、個人向け DIY 環境として普及させる試みである。例えば N. ガーシェンフェルドが設立した Fablab（ファブラボ）は、デジタル工作設備を備えた一般開放型の工房であり、世界規模のネットワークをもつ。そこでは必要となる技術知識を人々が相補的に共有し、互助的に制作を行うという共創環境（コモンズ）が目指される。さらに、共創を通じて蓄積される集合知がオルタナティブな社会構築に寄与することを期待して、パーソナルファブリケーションはソーシャルファブリケーションへと拡張する。この展開において、人々には専門家が独占する技術知識を民主化し、共創によって社会を自分（たち）で変革する主体としての役割が付託されているといえよう。

森山貴之「<sup>アート</sup>芸術とアマチュアリズム」

美学会編『美学の事典』丸善出版株式会社，2020 年，362－363 頁より

問 この文章では、芸術的活動における専門家主義に対し、アマチュアリズムがもつ積極的な価値について述べられている。あなたが志望する専門分野およびその周辺領域において、アマチュアリズムはどのようなかたちで存在し、どのような可能性をもつと考えられるか、具体的な例をあげて説明しなさい。

（800 字程度）